

令和3年1月25日  
デジタルアーカイブに関するWG  
ジャパンサーチWG（第2回）



# ジャパンサーチWG（第2回）論点メモ

国立国会図書館 電子情報部

# 論点及び配布資料

- **論点1 ジャパンサーチをプラットフォームとして育てていくために何が必要か**
  - 参考1-1 ジャパンサーチ正式版の機能～3つの観点から（再確認）
  - 参考1-2 ユーザの属性別機能要件（プロトタイプ開発時の「機能コンセプト」より）
  - 参考1-3 デジタルアーカイブ社会のイメージ図（3か年総括報告書より）
  - 参考1-4 正式版のアクセス状況（概要）
  - 参考1-5 ユーザアンケートの集計結果（概要）
  - 参考1-6 正式版公開後のフィードバック（概要）
  - 参考1-7 Europeana Strategy 2020-2025 参考訳
- **論点2 連携先の拡充**
  - 参考2 ジャパンサーチ連携の状況
- **論点3 ジャパンサーチのつなぎ役の支援**
  - 参考3 ジャパンサーチ連携の状況

# 【論点1】 ジャパンサーチをプラットフォームとして育てていくために何が必要か

- 目指すべき「プラットフォーム」の要件・軸とは？
- ジャパンサーチの将来像（5年後の到達点）
- ターゲットとするユーザ層は？
- 必要なアクション

## （参考）3か年総括報告書からの抜粋

- デジタルアーカイブの利活用を促すためには、単にデータを集約するだけでなく、その使い方（シナリオ）や好事例を具体的に示すことや、利活用しやすいプラットフォームでデータを公開することが必要である。（4（5）利活用の促進（p.19））
- 我が国の文化的なデジタル情報源を一覧できる「ジャパンサーチ」は、日本社会全体のDXをデザインして推進する人たちにとって、基礎を支えるプラットフォームとなりうる存在である。

## (参考1-1) ジャパンサーチ正式版の機能～3つの観点から (再確認)

### クリックするだけで楽しめる機能 多様なコンテンツの紹介

- 様々なテーマに関する「ギャラリー」を提供  
(テーマ例：長崎、富士山、刀剣、和食、北斎、伊能忠敬 etc.)

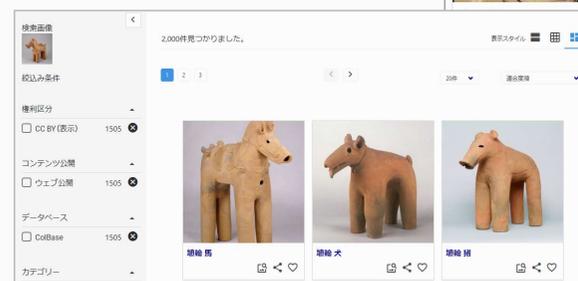


### 分野の特性を活かした検索機能

#### 横断検索



#### テーマ別検索



#### 画像検索

※類似の画像を検索可能

### 利活用促進の基盤となる利活用機能

- ジャパンサーチが集約したメタデータをAPI (外部提供インタフェース) で提供
- お気に入りをマイノートに登録し、注釈 (メモ) を追加可能
- マイノートを外部のWebサイトに貼付できるウェブパーツ機能
- マイノートの共同編集ができるワークスペース
- 任意のメンバーから成るプロジェクトで、ジャパンサーチの全機能を体験



API (SPARQLエンドポイント) 画面

※ジャパンサーチ利活用スキーマ形式のデータを提供

(参考1-2) ユーザの属性ごとの機能要件 (開発当初の検討メモ)

	一般ユーザ	学芸員・司書	研究者	教育関係者	地方自治体	企業/クリエイター
探す	関心のある資料、トピックを探す	業務 (レファレンス、展示企画等) 目的で資料を探す	研究素材を探す	教材を探す	業務 (広報素材等) の資料を探す	フリー素材を探す
楽しむ	ギャラリーを見て楽しむ					
活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイノートを使いキュレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子展覧会の作成、公開</li> <li>・イベント開催</li> <li>・研修・実習実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの学習用データセットとして</li> <li>・海外日本研究支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learning</li> <li>・調べ学習</li> <li>・プログラミング授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリーで地域情報の発信</li> <li>・イベント開催 (Wikipedia Town 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商用利用可のコンテンツを使い、コンテンツ制作、アプリ開発など</li> </ul>
成果 (アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルアーカイブに親しむ</li> <li>・ライセンスの意味を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化</li> <li>・施設やサービスの認知度、アクセス向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野横断的/境界領域の新しい研究テーマが生まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のデジタルリテラシー向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド</li> <li>・自治体PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新ビジネス創出</li> </ul>



(参考1-3) デジタルアーカイブ社会のイメージ図 (3か年総括報告書より)

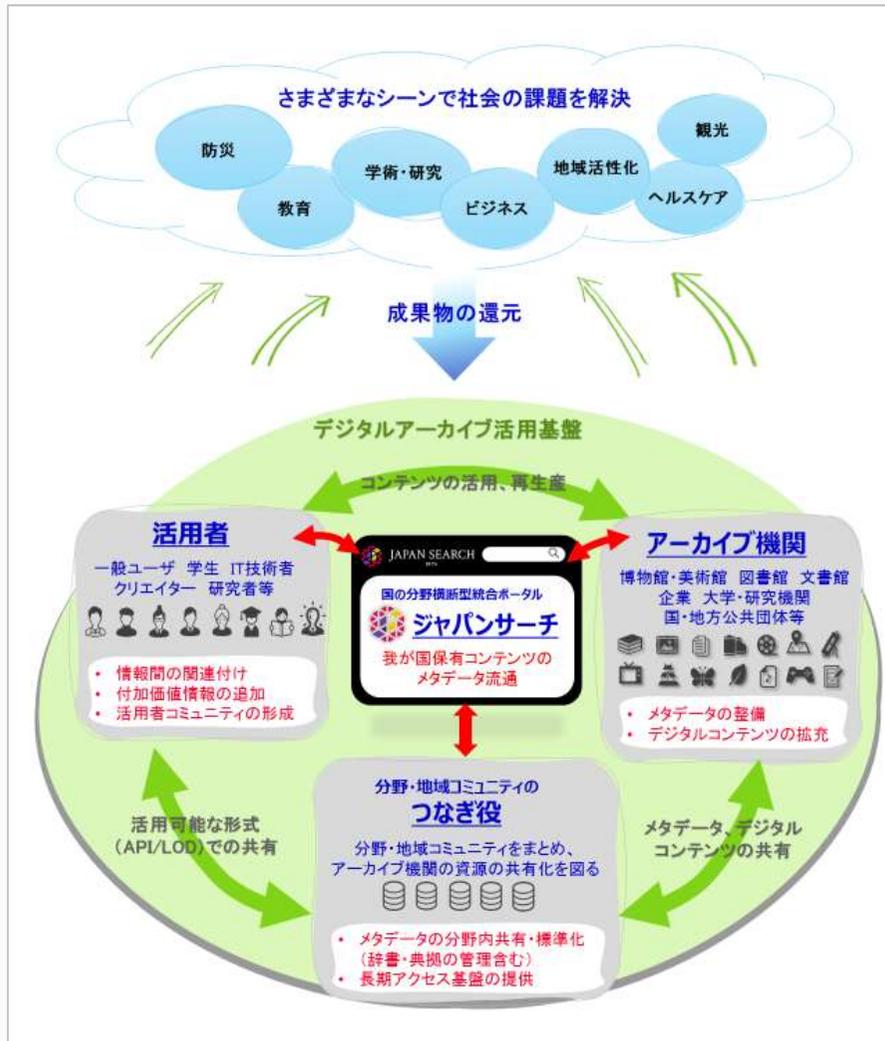


図1：デジタルアーカイブの共有と活用のために

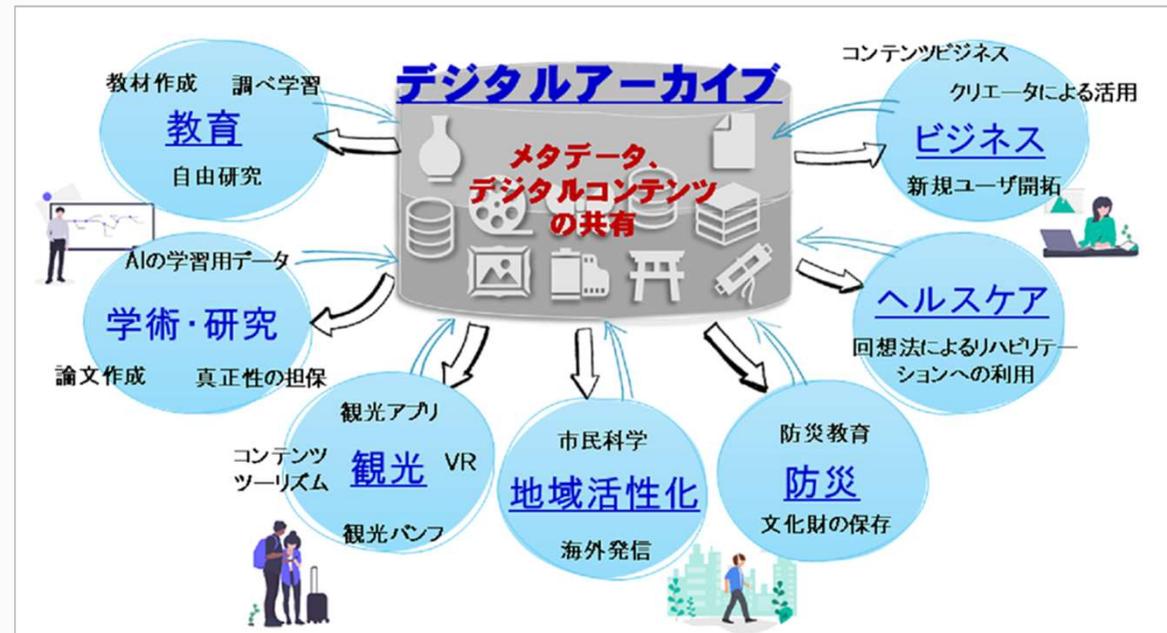


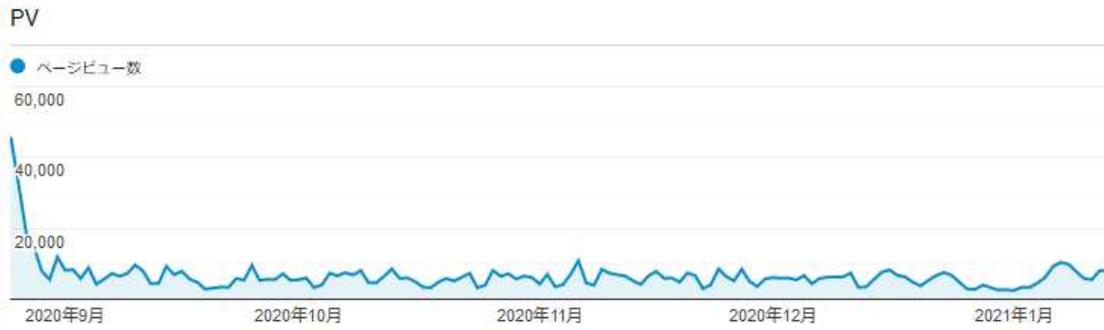
図2 デジタルアーカイブ社会のイメージ

「3か年総括報告書 我が国が目指すデジタルアーカイブ社会の実現に向けて」  
(令和2年8月19日 デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会)  
[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive\\_suisiniinkai/pdf/r0208\\_3kan\\_en\\_houkoku\\_honbun.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/pdf/r0208_3kan_en_houkoku_honbun.pdf)

## (参考1-4) 正式版のアクセス状況 (概要) (2020/8/25-2020/1/14)

※数値はGoogle Analyticsによる

- 1日当たり平均ページビュー数 **6,245PV**
- 月単位のページビュー数の遷移



- 1日当たり平均ユーザ数 **1,283ユーザ**
- 月単位のユーザ数の遷移



- 平均セッション時間 **3分03秒**

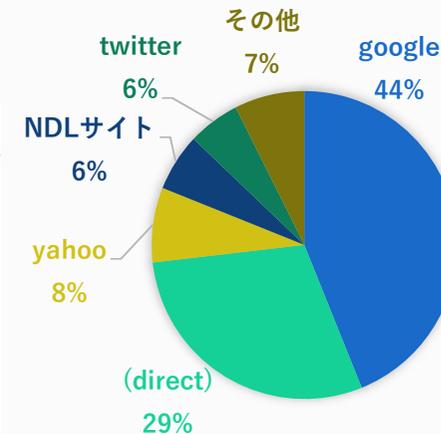
- 平均直帰率 **65.9%**

※全セッションのうち、1ページだけ見て帰ったセッションが占める割合

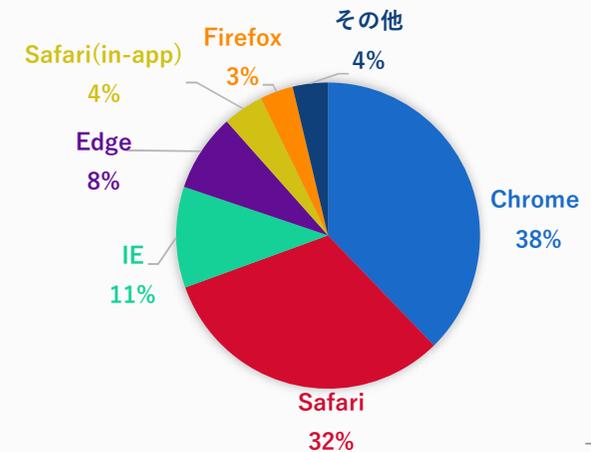
- 海外からのアクセス  
**129か国 12,195ユーザ (86ユーザ/日)**

米国、台湾、中国、韓国 etc.

- 参照元



- ブラウザ



## (参考1-5) ユーザアンケートの集計結果 (概要)

- 実施期間：2020年11月～12月上旬
- 回答数：62

### 1. 回答者の属性

#### 年齢

・10代	: 15%
・20～30代	: 40%
・40～50代	: 38%
・60代以上	: 3%

#### 在住地域

・国内	: 95%
(関東60%、近畿10%)	
・国外	: 2%

#### 所属

・図書館	: 17%
・博物館・美術館	: 8%
・文書館	: 2%
・自治体	: 3%
・小・中・高	: 17%
・大学・研究機関	: 18%
その他、個人、ベンダー、企業等	

#### 職種

・事務職・一般職	: 30%
・研究・開発関係	: 8%
・クリエイティブ	: 12%
・IT・ウェブ	: 7%
・教育関係	: 13%
・生徒・学生	: 16%

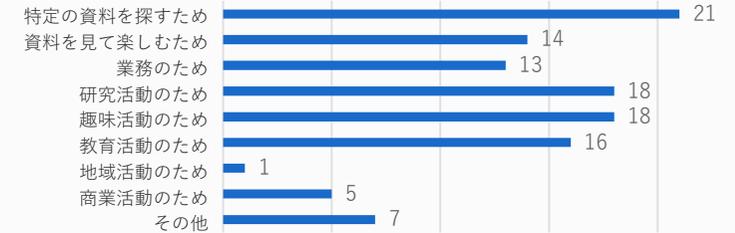
### 3. 機能について / 改善要望

#### ジャパンサーチのどのような機能が重要と思うか

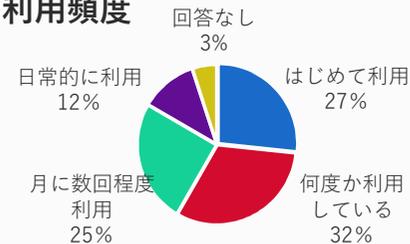


### 2. (今回アクセスした)利用目的、利用頻度、満足度

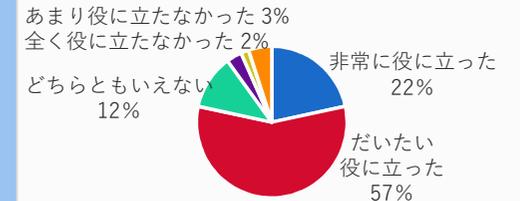
#### 利用目的



#### 利用頻度



#### ジャパンサーチは目的に照らして役に立ったか



#### 改善してほしい点



## (参考1-6) 正式版公開後のフィードバック (概要)

### ● 主な改善要望

#### (一般ユーザ)

- システムのソースや設計に関する情報の一般公開
- UI・メタデータの多言語対応
- ジャパンサーチ側でデータを変換・マッピングした情報を連携機関に還元  
⇒ ジャパンサーチの「開発者向け情報」ページにソースデータのマッピング例を掲載  
[https://jpsearch.go.jp/static/developer/property\\_simple/ja.html](https://jpsearch.go.jp/static/developer/property_simple/ja.html)
- ジャパンサーチの意義・役割・機能についてPRを強化
- ジャパンサーチについて分かりやすいパンフレット・利用方法マニュアルが欲しい
- ジャパンサーチの肝要となる全データの横断検索画面をトップページに置いて欲しい
- 画像を増やして欲しい、画像の拡大縮小機能が欲しい

#### (連携機関)

- 検索結果の各アイテムの「所蔵機関」「つなぎ役」の表示方法の検討・改善  
(データ作成機関と実際の所蔵者が異なる場合の表示の問題)
- ジャパンサーチのアクセスログを入手したい (ダッシュボード機能)

### ● その他 (お問合せフォームからの問合せ)

- 出版・放送目的でのコンテンツ利用に関する問合せが増加



## (参考1-7) Europeana Strategy 2020-2025 参考訳 (<https://pro.europeana.eu/page/strategy-2020-2025-summary>)

### ■ ミッション 2020-2025

Europeanaはアーカイブ機関のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を支援する。デジタル化のための専門知識、ツール、ポリシーを発展させ、イノベーションにつながるパートナーシップを強化する。文化資源を教育、研究、イノベーション、レクリエーションのために利用しやすくする。Europeanaの活動を通して、開かれた知識豊かで創造的な社会に貢献する。

### ■ アーカイブ機関のDXに向けた3つの重点課題

#### 重点1：インフラの強化

【課題】非効率的なインフラではアーカイブ機関が効果的にコレクションをオンラインで共有できないため、インフラに投資

- 【目標】
- A. より効率的にデータを集約するための基盤の開発
  - B. データプロバイダとアグリゲータに優れたサービスを提供
  - C. コンテンツの検索・参照の容易化

#### 重点2：データの質の向上

【課題】データのアクセス可能性、可視性、再利用性を高めるため、メタデータとコンテンツの質的改善に向けた取組を実施

- 【目標】
- A. 高品質なデジタルコンテンツの増加
  - B. 高品質なメタデータの増加
  - C. 相互運用可能なフォーマットの使用促進
  - D. （機械学習アルゴリズム等の新技術を用いた）メタデータの自動改善の実験を実施
  - E. （機械翻訳を用いた）多言語化の改善
  - F. クラウドソーシングを用いたメタデータの充実

#### 重点3：アーカイブ機関のデジタル改革の支援

【課題】アーカイブ機関のニーズは多種多様であるため、全機関が同一方針の下でDXを推進することは困難であることを踏まえた上で、各機関のDXを支援する。デジタル化の重要性及び付加価値、標準、ベストプラクティス、ソリューションを紹介する。

- 【目標】
- A. DXの能力を高めるための人材育成・技術開発
  - B. DXを支えるネットワークの構築
  - C. 国家インフラの強化

## 【論点2】連携先の拡充

### • 地域との連携の要件・優先度

- 都道府県のMLA横断ポータル
- 都道府県立文書館・博物館・美術館
- 市町村立文書館・博物館・美術館
- ※ 図書館（単館）は国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）経由で連携

### • 有償コンテンツ/営利目的のDBとの連携の要件・優先度

- オープンな利用条件のものならOK？

### • ベンダーのDBとの連携（ベンダーはつなぎ役になりうるか）

### • 海外との連携の在り方

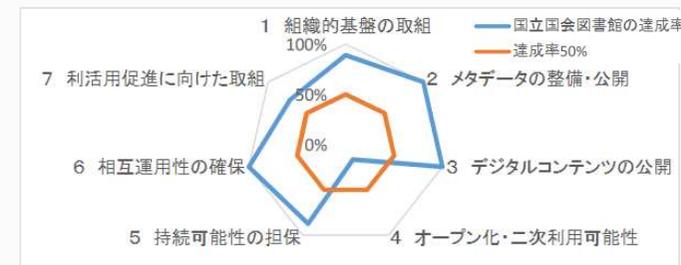
### • 連携を拡充・優先すべき分野

- 公文書、美術、メディア芸術、人文学、自然史など、いずれの分野を優先か
- このほか、現代美術（コンテンポラリーアート）、ファッション、3D等のご意見あり

### • KPIの策定は必要か

- 連携機関のKPI：連携機関の達成度を「デジタルアーカイブアセスメントツール」で測り、連携のモチベーションにつなげる？
- ジャパンサーチのKPI：データベース・データ件数の目標値設定は困難。分野の網羅性や連携済データのオープン化対応率は算出可能？

（国立国会図書館の自己点検例（令和2年8月））



## (参考2) ジャパンサーチ連携の状況

※データ件数は概数

連携済

一部連携済

連携調整中

つなぎ役が明確でない領域

	国の機関	公立・公共	私立・民間
書籍等	<p>「国立国会図書館サーチ (NDLサーチ)」 (国立国会図書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立国会図書館が収集・保存する資料のデジタル化資料: 278万件</li> <li>NDLサーチの連携機関 (都道府県立図書館、大学図書館、民間デジタルアーカイブ等) が提供するデジタル化資料: 16.9万件※追加調整中</li> <li>国内出版物の書誌情報: 592万件</li> <li>日本関係外国語図書 の書誌情報 (試行版): 9,500件</li> </ul>		
公文書等	<p>「国立公文書館デジタルアーカイブ」 (国立公文書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立公文書館所蔵の公文書等: 360万件</li> </ul>	<p>都道府県立・市町村立公文書館</p> <p>和歌山県立文書館</p> <p>大学文書館</p>	<p>私立・民間のアーカイブズ</p>
文化財	<p>「文化遺産オンライン」 (文化庁) 国指定文化財 13万件</p> <p>「ColBase」 (国立文化財機構) 国立博物館収蔵・寄託品: 13.4万件</p> <p>「文化財動画ライブラリー」 (国立文化財機構)</p>	<p>地方指定文化財</p> <p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>私立・民間の博物館・美術館等</p> <p>「東京富士美術館収蔵品DB」※全美経由</p> <p>「写真原板DB (日本写真保存センター)」 6,800件</p>
美術	<p>「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」 (国立美術館)</p> <p>国立美術館4館の所蔵作品 4.1万件</p> <p>「アート commons」 (国立美術館) 日本国内で開催された展覧会の情報 約4.5万件</p>	<p>「愛知県美術館コレクション」※全美経由</p>	
地域		<p>都道府県の地域アーカイブ</p> <p>「信州デジタルcommons」 (長野県)</p> <p>「三重の文化・歴史DA」 (三重県)</p>	<p>私立・民間の地域アーカイブ</p>
メディア芸術	<p>「メディア芸術データベース」 (文化庁) ゲーム、マンガ、アニメ、メディアアートの情報 479万件</p> <p>「日本アニメーション映画クラシックス」</p> <p>「映像でみる明治の日本」 (国立映画アーカイブ) 84件</p> <p>文化庁</p> <p>「日本映画情報システム」 4.7万件 (映倫審査作品)</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>Japan Content Catalog (VIPO) 6.9万件</p> <p>RCGS Collection (立命館大学ゲーム研究センター)</p>
舞台芸術			<p>「演劇資料総合データベース」 (早稲田大学演劇博物館) 300件</p>
自然史・理工学	<p>「S-Net」 (国立科学博物館) 標本資料 450万件</p> <p>「古地図コレクション」 (国土地理院) 1,500件</p> <p>「蚕織錦絵コレクション」 (東京農工大科学博物館) 400件</p>	<p>「魚類写真資料データベース」 (国立科学博物館・生命の星・地球博物館) 魚類写真 10.8万件</p> <p>都道府県立・市町村立科学博物館等</p>	<p>私立・民間の科学博物館等</p> <p>「南方熊楠顕彰館資料」 約1,000点</p>
人文学	<p>「人間文化研究機構統合情報検索システム nihuiNT」 (人間文化研究機構)</p> <p>人間文化研究機構6機関のデータ 214万件</p>	<p>人文学関係のコレクションを有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	<p>「にいがた地域映像アーカイブデータベース」 (新潟大学)</p> <p>「ARC古典籍データベース」</p> <p>「ARC浮世絵データベース」 (立命館大学ARC) 28.2万件</p> <p>デジタル版「実験論語 処世談」等 (渋沢栄一記念館) 約200件</p>
学術資産	<p>「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」 (東京大学) 14万件</p> <p>「京都大学研究資源アーカイブ」 (京都大学) 100件</p>	<p>学術資産を有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	
データセット	<p>「データカタログサイト」 (総務省行政管理局・内閣官房IT戦略室)</p> <p>府省庁のデータセット 2.6万件</p>	<p>地方自治体 (都道府県、市町村等) の公共データ</p>	<p>私立・民間のデータセット</p>
放送番組		<p>「動画で見るニッポンみちしる」 (NHK) 4,000件</p>	<p>「放送ライブラリー公開番組DB」 (放送番組センター) ドラマのデータ 3,000件</p>

つなぎ役が明確でない領域

## 【論点3】 ジャパンサーチのつなぎ役への支援

### ・ ジャパンサーチ連携機関への支援策として何が必要か？

(ジャパンサーチの枠組みから考えられる支援策)

- 連携機関フォーラムの開催
- 連携機関用Slackで意見の吸い上げ
- ジャパンサーチ上での表示
  - 「つなぎ役紹介ページ」の検討

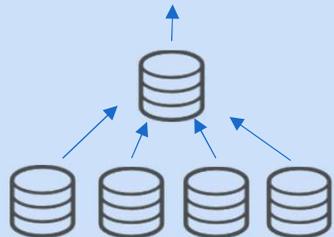
※つなぎ役が不在の分野/地域の創出・支援策については全体戦略WGで議論

## (参考3) ジャパンサーチ連携の状況：さまざまな連携パターンが存在

### 分野・地域コミュニティの「つなぎ役」経由の連携（例）

① 同分野・地域内のアーカイブ機関のデータベースをまとめるポータルを構築

 JAPAN SEARCH

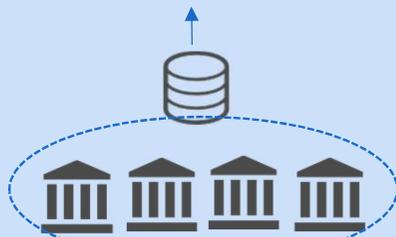


(事例)

- ・文化遺産オンライン（文化庁）
- ・S-Net（国立科学博物館）
- ・NDLサーチ（国立国会図書館）
- ・Japan Content Catalog（VIPO）

② 同じ組織内の複数機関のデータを集約したデータベースを構築

 JAPAN SEARCH

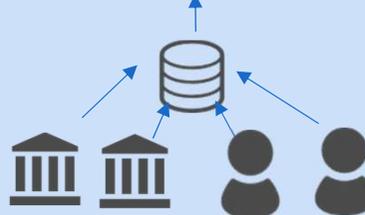


(事例)

- ・ColBase（国立文化財機構）
- ・nihulNT（人間文化研究機構）
- ・国立美術館所蔵作品総合目録検索システム（国立美術館）

③ 同じ分野・テーマの資料をさまざまな団体又は個人から集約したデータベースを構築

 JAPAN SEARCH

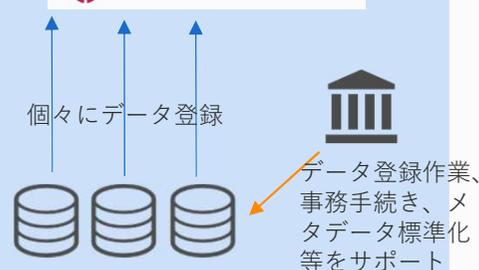


(事例)

- ・放送ライブラリー公開番組DB（放送番組センター）
- ・「にいがた地域映像アーカイブデータベース」（新潟大学）
- ・「魚類写真資料データベース」（国立科学博物館、生命の星・地球博物館）

④ データ集約は行わないが、つなぎ役としてアーカイブ機関への情報提供、事務手続き、メタデータ標準化等をサポート

 JAPAN SEARCH



(事例)

- ・全国美術館会議経由で、愛知県美術館、東京富士美術館等と連携

データ登録作業、事務手続き、メタデータ標準化等をサポート

### 直接連携

メタデータ集約を行うつなぎ役が明確ではない分野・地域については、条件に当てはまるアーカイブ機関との直接連携を検討

- ・国の機関であり、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
- ・公益に資する目的のため、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
- ・唯一性・独自性の高いコンテンツ群を塊として扱う分野・地域を代表するアーカイブ機関
- ・その他、実務者検討委員会において適当と認められるアーカイブ機関